



安心ネットづくり促進協議会活動報告

2010年10月15日

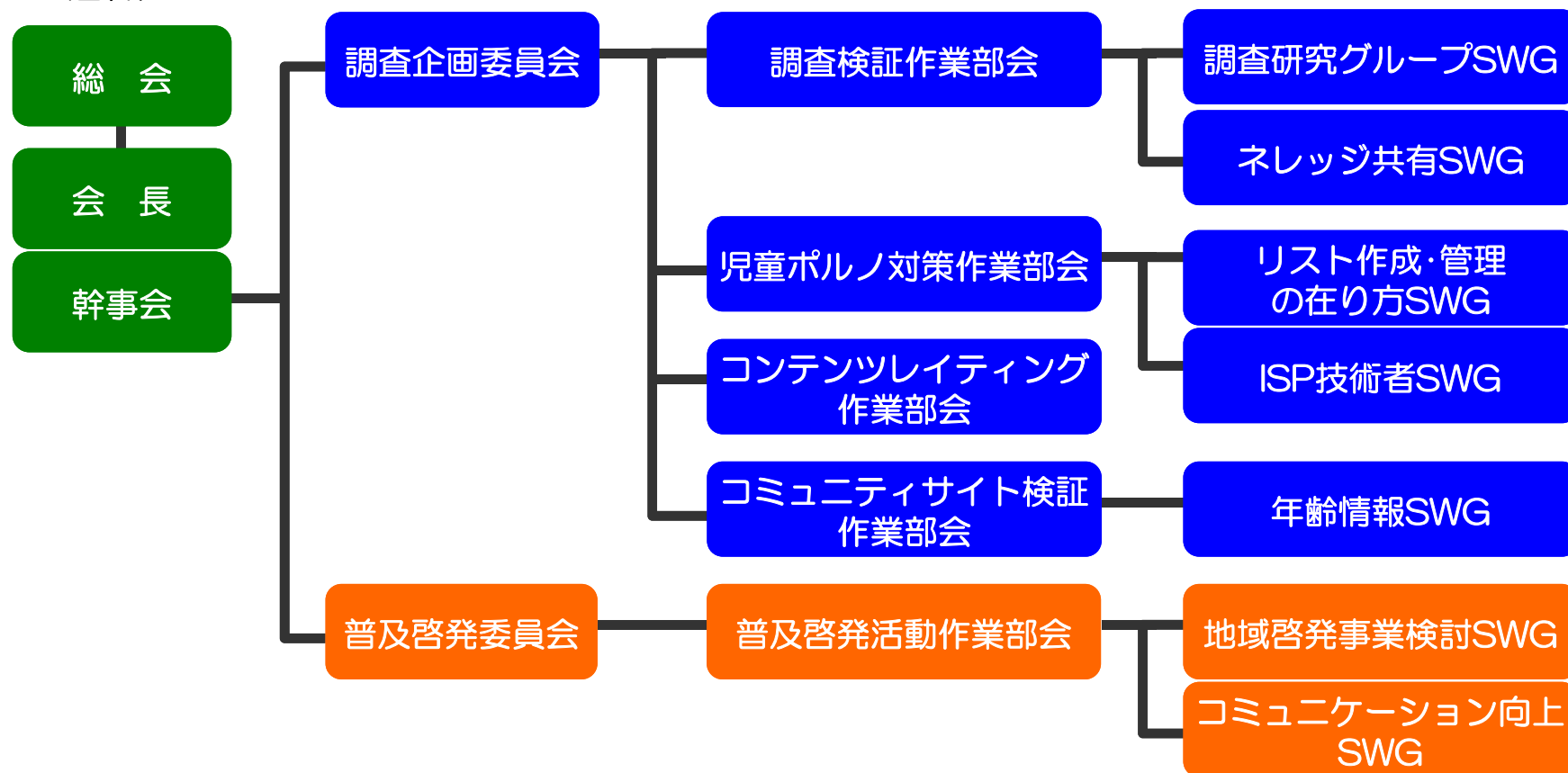
安心ネットづくり促進協議会

1. 安心ネットづくり促進協議会 概要

安心ネットづくり促進協議会は携帯電話及びインターネットの利用環境整備のために、総合的な取組を推進することにより、誰もが安心かつ安全に携帯電話及びインターネットを利用できる環境の構築を図る民間の取組として、利用者・産業界・有識者・教育関係者等が集い2009年2月27日に設立されました。

(会長：大阪大学総長 鷲田清一氏、2010年9月30日現在202会員)

■ 組織図 ■



2. 各作業部会の取り組み1（調査企画委員会）

調査検証作業部会

「インターネット上の違法有害情報の分野別影響調査」を4つの分野「暴力・いじめ」「性行動」「自殺」「依存」について、ある程度の期間をかけ実施することとしている。

また、「ナレッジの共有、情報発信」としてネットに関する、さまざまな情報を提供し、少しでも多くの方がより多くのナレッジを持っていただくことに貢献するとともに、今後のネットに関する議論において活用していただくことを企図し、ポータルサイト上に「もっとグッドtimes」を開設し展開している。

児童ポルノ対策作業部会

昨年度は「諸外国（イギリス、ノルウェー）における児童ポルノを規制する法律、ブロッキングの方式等の調査」「ISP技術者によるブロッキングに関する技術面・コスト面検討」「法的問題の検討」を行い成果報告を取りまとめ公表している。

2010年度は、ブロッキングに使用される「アドレスリストの在り方」について、制度的な課題を整理することとしている。また、ISP技術者により、「アドレスリストの受け渡し時の仕様」の検討や「実証実験によってブロッキングの方式・性能等の情報をとりまとめ、技術情報のドキュメント化を行う」ことを検討している。

コンテンツレイティング作業部会

会員企業の協力を得て、2010年2月にセルフレイティングの実証実験を行い、結果報告を行った。

3. 各作業部会の取り組み2（調査企画委員会）

コミュニティサイト検証作業部会

関係事業者、第三者機関、通信キャリア、利用者の声を反映する諸団体や有識者によりコミュニティサイトの実態を共有し、問題に対する傾向と対策を明らかにするため活発な議論を行い、最終報告書「子どもを護るために」を2009年10月に取りまとめて公表した。

報告書では、大手コミュニティサイト事業者の多くが「事後監視」の対策を実施しており、問題の拡大を防止している点、第三者審査機関に一定水準の利用環境整備やその維持に貢献しているといった一定の評価を認めつつ、不適切な利用を目的とする大人が青少年に対してコンタクトを取ることができないような仕組みづくり（「事前の対策」）が急務である点や、フィルタリング加入促進や解除率の低減に向けた取組みをより一層推進する必要がある点、第三者審査機関が認定したサイトで事件が発生しているという指摘がされた点を真摯に受け止め、社会の期待に応えていくための努力が継続して必要であり、引き続き民間事業者が中心となって、関係する省庁・自治体・PTAの協力を得ながら、問題解決のための取組みを推進していくことを確認している。

今年度は、報告書における課題について関係者の履行状況をレビューし、さらに必要な取組みをとりまとめることとしており、コミュニティサイトの利用実態調査についても行うこととしている。

4. 各作業部会の取り組み3（普及啓発委員会）

普及啓発活動作業部会

利用者・産業界・教育関係者などが一体となった安心ネットづくり促進協議会の強みを生かし、これまでの行われてきたそれぞれの成功事例とノウハウを有機的につなげた活動を「全国事業」「地域事業」として、国民運動を展開することを命題として活動を行った。

「地域事業」としては、協議会会員のナレッジとノウハウを連携する内容で国民一人ひとりが考えるということを目的に全国のシンポジウムを中心に啓発事業を20ヶ所にて行った。

「全国事業」としては、2009年8月に「もっとグッドネット」ポータルサイトを立ち上げ、協議会としてのアピールである「もっとグッドネット宣言」を募るとともに、もっとグッドネットのロゴマークを作成し、宣言者に利用してもらうことで、インターネット上での取り組みの広がりを訴求した。また、オリジナルコンテンツ「ケータイ家族 もばみ」や協議会会員内外含めたりテラシー向上の為の取り組みやテキストを収集し、分類・整理の上、検索ができるよう「もっとグッドネットなコンテンツ検索」をポータルサイト展開した。

今年度は、「もっとグッドネット」を広く国民に認知させ活動内容を理解してもらい、また、協議会の信頼感を醸成し、家庭でのルールづくりなど具体的な活動に繋げる。「コミュニケーションの強化」と、国民一人ひとりがインターネットの光と影の理解を高めるため、地域ニーズを把握し、各地の自治体、PTA、NPO、企業などとのコラボレーションによるシンポジウムや体験学習会等ニーズに合った地域啓発事業の多面展開を開催を計画実施している。

5. 子どもを守るための緊急アピールの公表について

安心ネットづくり促進協議会は、PTA、消費者団体、学識経験者、産業界などが結集し、安心・安全なインターネット環境を実現することを目的に、設立以降、国民運動として積極的に取り組んできました。

「もっとグッドネット宣言」や全国各地でのシンポジウムや勉強会など、広く社会全体に向けたメッセージを発信してきていますが、今なお、携帯電話等からのインターネット利用において児童・青少年を巻き込む性犯罪等が、社会問題として各方面から注視されております。このような現状に鑑み、さらに踏み込んだ具体的なメッセージを発することが必要と考え、「子どもを守るための緊急アピール」を警察庁、総務省、文部科学省ご協力のもと、2010年10月12日に公表しました。

※公表内容は別紙1参照

子どもを守るための緊急アピール

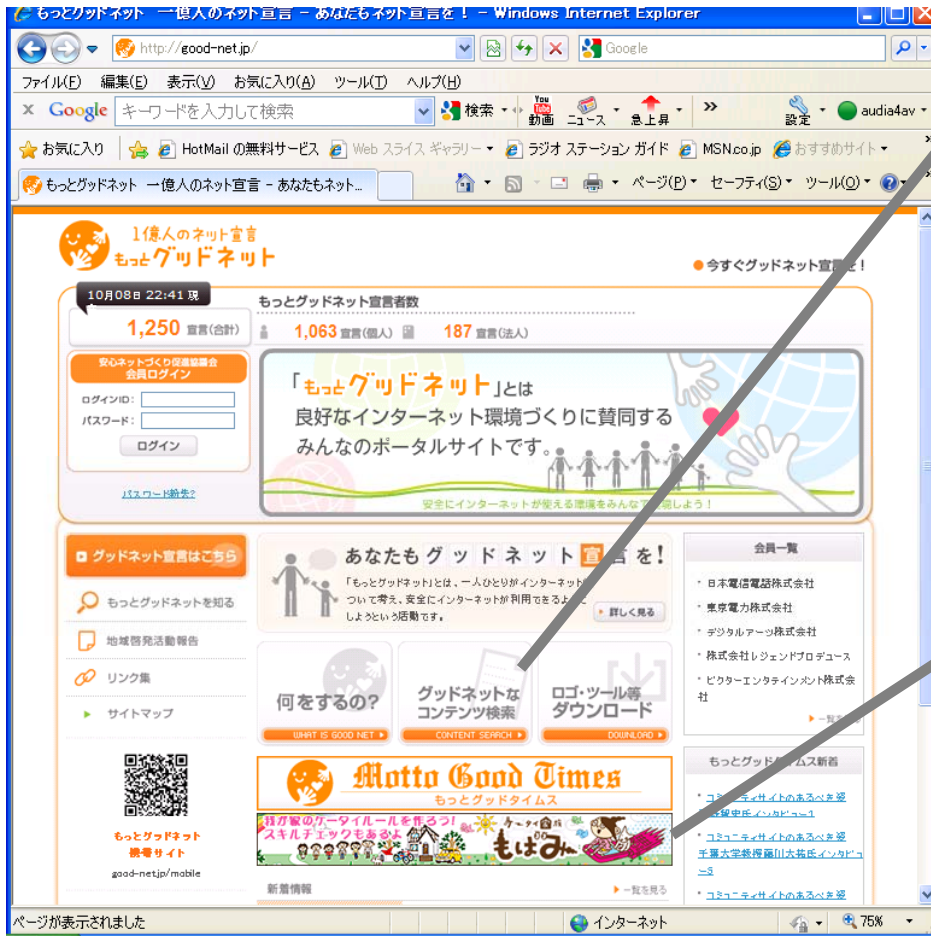
その1 親子で話そう！

その2 フィルタリングを使おう！

その3 知らない人の誘いに乗らない！

6. 普及啓発活動詳細 全国事業①

もっとグッドネットポータルサイト (http://good-net.ne.jp)



「もっとグッドネットなコンテンツ検索」
 取り組みや教材などを「用途」「目的」「対象者」等の分類によって検索ができるコンテンツ

カテゴリ	内容
学びたい	リテラシー教材・サイト・キッズサイト・出前講座の申し込み等
相談したい	相談窓口・通報窓口・ホットラインセンター等
調べたい	統計・データ・法令等

「ケータイ家族もばみ」
 ケータイスキルチェックができつつ、ケータイのルールづくりをナビゲートしてくれるコンテンツ



7. 普及啓発活動詳細 全国事業②

もっとグッドネット宣言

■3つの目標■

3つの目標に賛同してもらった方に「もっとグッドネット宣言」をしてもらい広く国民の参画をインターネット上で図る。

● ネットでも思いやりを持って！

● 社会のルールとマナーを守って！

● 賢く使って、よりよいコミュニケーションを！



もっとグッドネットロゴマーク

会員他、もっとグッドネット宣言をされた方に活用してもらい「もっとグッドネット活動」の認知向上を図る。



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

8. 普及啓発活動詳細 地域事業 開催状況①

■開催状況■

【主催・共催】

期 間	イベント名称	参加者数
2009年8月23日・24日	もっとグッドネットin大阪	約450名
2009年9月26日・27日	もっとグッドネットin熊本	約750名
2009年11月1日・10日	おおいた教育の日 もっとグッドネットin大分	約850名
2010年1月23日	もっとグッドネットin仙台	約500名
2010年2月27日・28日	ワークショップコレクション もっとグッドネットゾーン	約3,000名

【協力・後援】

	期間	イベント名称	主催等	参加者数
協力	2009年10月28日	埼玉県子ども人権フォーラム	埼玉県	約2,000名
後援	2009年11月8日	ケータイ・インターネットとの つきあいフォーラム	鳥取県教育委員会	約100名
協力	2010年2月6日	もっとグッドネットin山口	山口県公立高等学校 PTA連合会	約200名
協力	2010年2月6日	もっとグッドネットin祁答院（ 鹿児島県）	祁答院地域PTA 連絡協議会	約150名

9. 普及啓発活動詳細 地域事業 開催状況②

【協力・後援】（つづき）

	期間	名称	主催等	参加者数
協力	2010年2月7日	もっとグッドネットin長崎	松浦市PTA連合会	約500名
協力	2010年2月13日	ネットケータイ問題青森情報交換会議	弘前大学	約100名
協力	2010年2月27日	もっとグッドネットin奈良	奈良県高等学校PTA協議会	約150名
協力	2010年2月27日	愛媛ケータイ、ネット勉強会	愛媛県PTA連合会	約300名
協力	2010年2月28日	もっとグッドネットin新潟	三条市PTA連合会	約100名
協力	2010年2月28日	もっとグッドネットin富山	富山県PTA連合会	約250名
協力	2010年3月6日	もっとグッドネットin岡山	山陽新聞社	約100名
協力	2010年3月6日	もっとグッドネットin山梨	山梨県PTA協議会	約250名
協力	2010年3月13日	もっとグッドネットin高知	高知新聞社	約100名
協力	2010年3月20日	もっとグッドネットin秋田	秋田魁新聞社	約60名
協力	2010年3月20日	もっとグッドネットin栃木	e-とちぎ	約100名

10. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果

■成果■

- 主催、協力に係わらず、協議会会員の講師陣の協力により、いずれの開催地も参加者から高い満足度（88％）と内容の理解（76％）を得た。また、参加者は地元キーパーソンが多く（34.5％が公務員・教員）、確実に、安心ネットづくりの存在感、信頼感を醸成出来た。
- 「保護者が自ら学ぶことの重要性」や「家庭でのルールづくりの認識」について高い理解（7割～8割）を得た。
- 開催地によって、ケータイ所持に関する意識や参加者像の違いなどの与件はあるが、アンケートで「規制でケータイを持たせない」が0％の結果となる場合があり、講演やパネル内容によって、確実に地域に変化をもたらしたケースが見られた。
- 18県のシンポジウムに関して、グッドネットの訴求と地元紙への10段記事を掲載。496万購読者へ訴求の機会を得た。

※実施した地域毎のアンケート結果詳細は別紙2参照

協議会会員のナレッジとノウハウを使って、国民一人ひとりが考えるという目標に対し、一定の成果を残すことができた。

11. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細①

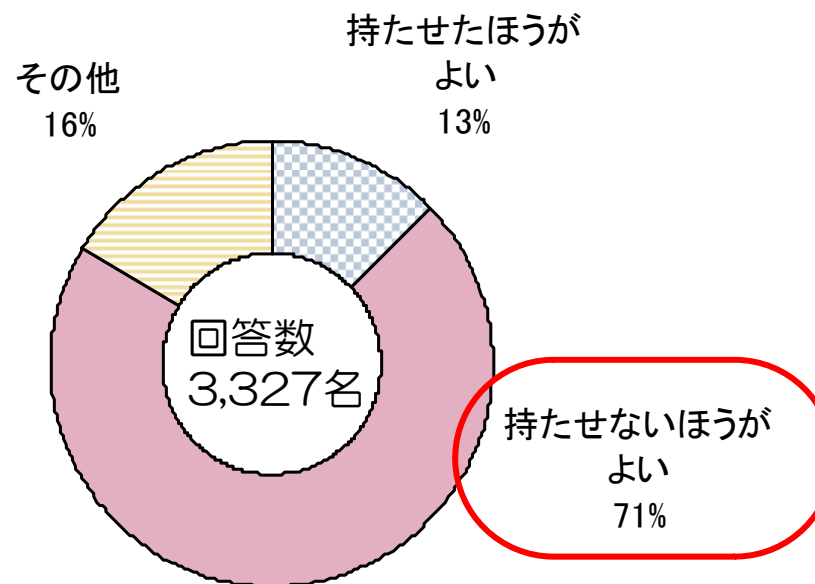
■シンポジウム参加者と、携帯保有の考え

- シンポジウム開催20箇所の参加者は、公務員、教員が34.5%と1/3以上を占める。
- 参加者全体では、「小中学生に携帯電話を持たせないほうがよい」との意見が7割を超える。

<アンケート総数3327名の構成>

職業	構成比
会社・団体員	20.9%
公務員・教員	34.5%
自営業	5.6%
パート・アルバイト等	15.9%
専業主婦・主夫	18.6%
無職・その他	4.5%

<小中学生の携帯電話保有について>



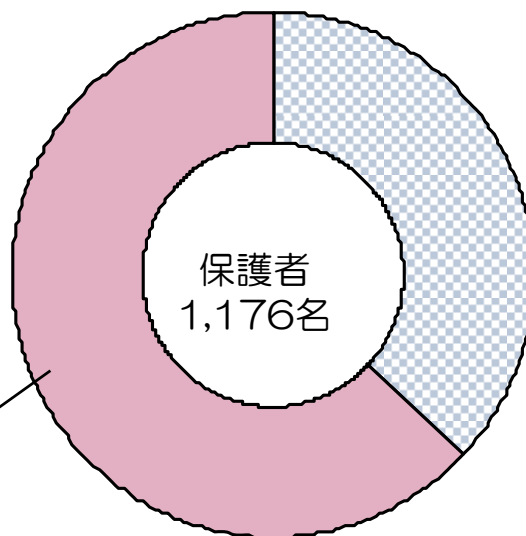
12. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細②

■携帯電話に関するトラブルの対応についてどのように対処すべきか？

- 保護者は所有に「前向き」であり、セミナー・勉強会の実施ニーズは少ない。

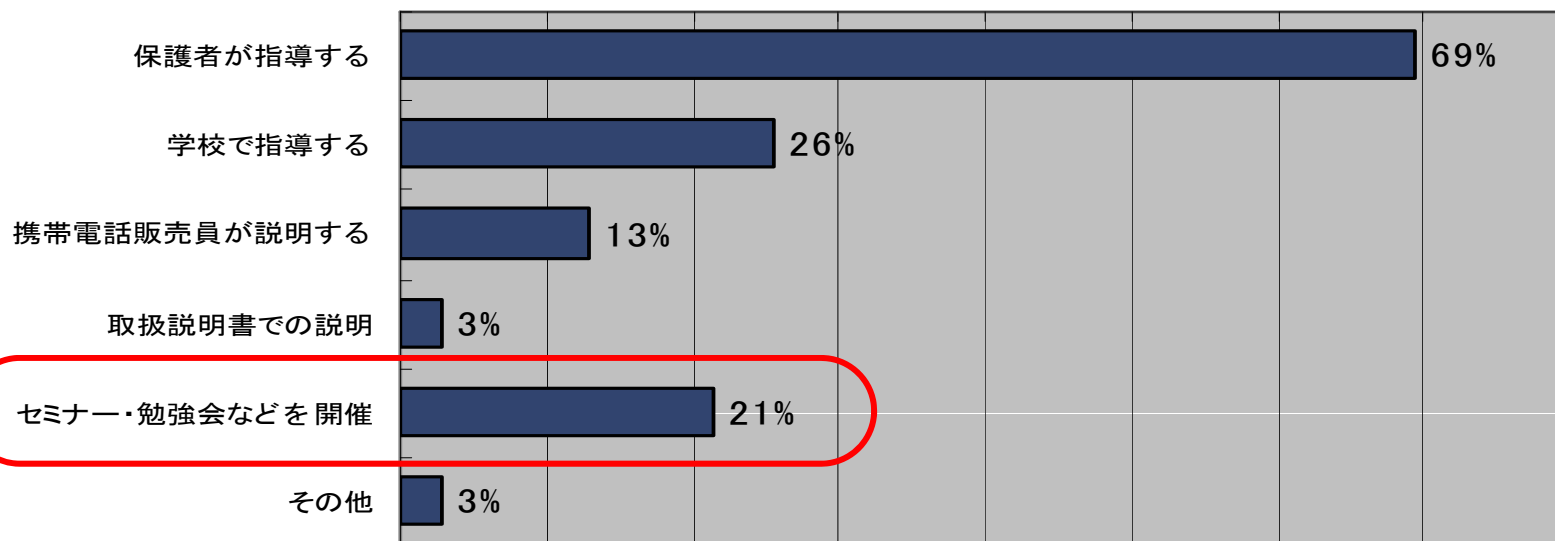
携帯電話を持たせた上で説明・指導を行う
63%

子供には携帯電話を持たせないようにする
37%



<説明・指導の内訳>

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

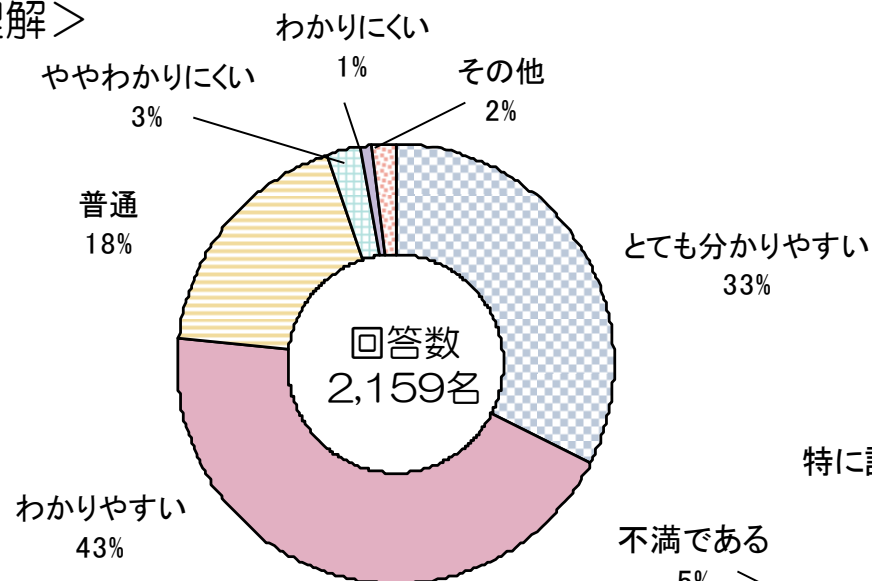


13. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細③

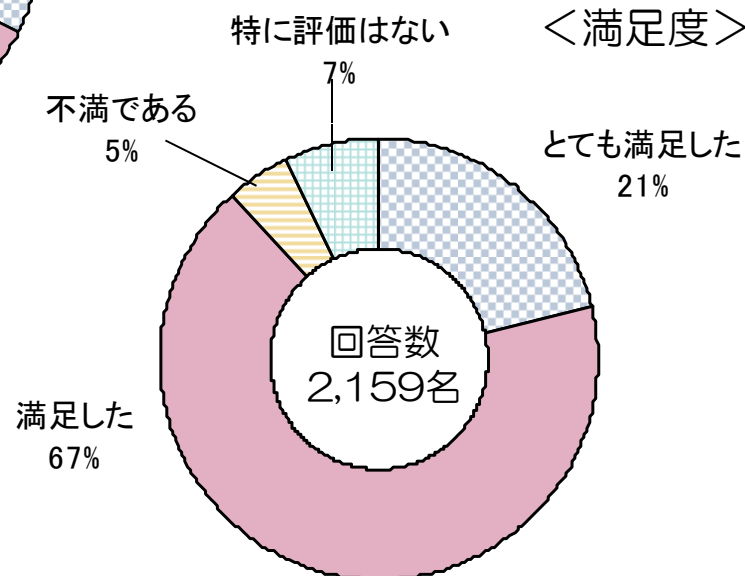
■シンポジウムの内容理解・満足度

- 公務員、教員等、地域のキーパーソンが多く参加する中で、高い内容理解（76%）と満足度（88%）を得ることが出来た。

<内容理解>



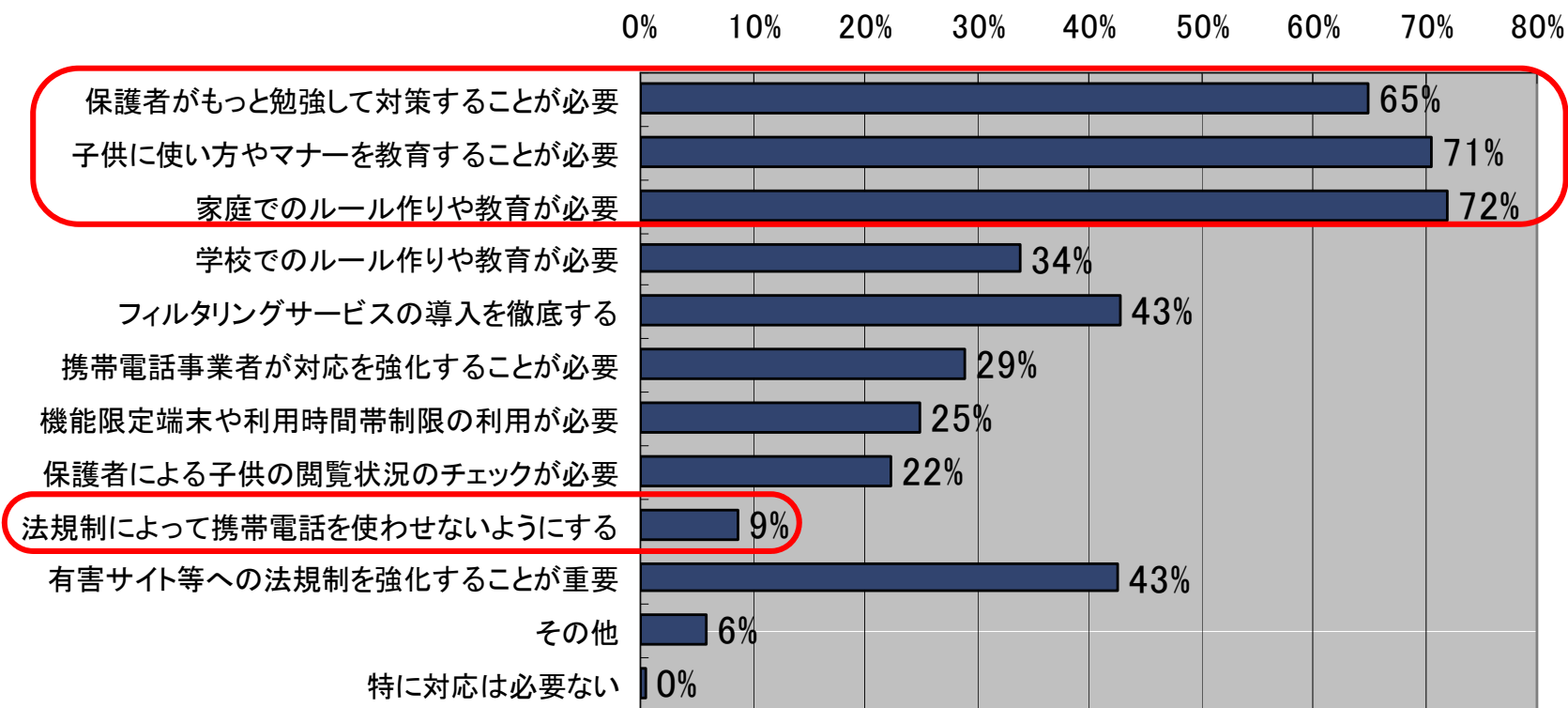
<満足度>



14. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細④

■シンポジウムに参加して子どもの携帯電話利用にどのような考えを持ったか？

- 講演やパネル討議を聞いた上での回答として「保護者の対策」「使い方、マナー教育」「家庭でのルール作り」がそれぞれ7割程度。「法規制で使わせない」は9%にとどまる。
- 7割が「小中学生に携帯を持たせないほうがよい」を支持する参加者に対して、このテーマ について、関係者一人ひとりがきちんと考える方向が支持されたと考えられる。



回答数 2,159名

15. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細⑤

■自由記述抜粋＜シンポジウム＞

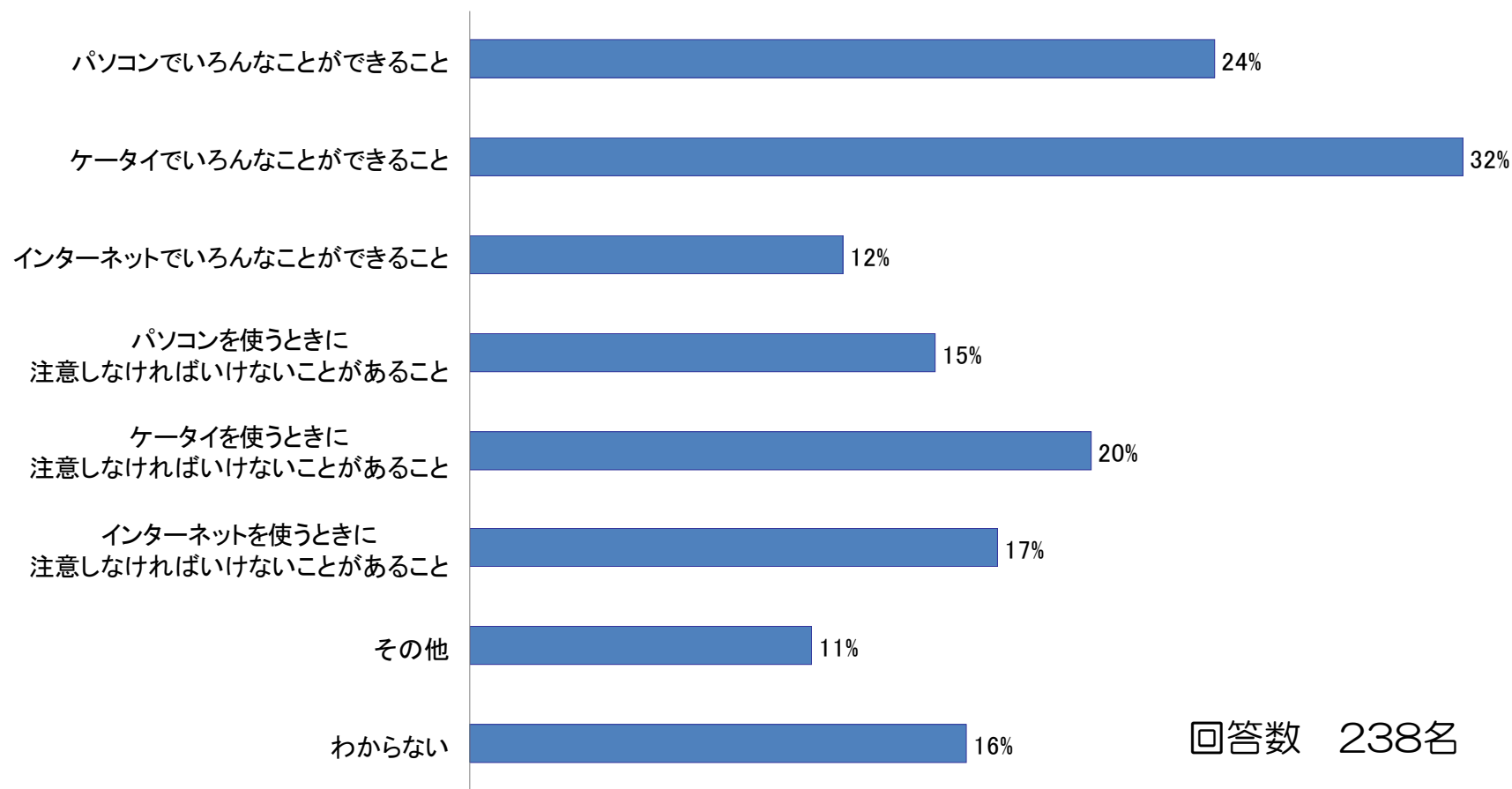
- 参加満足度の高さ（88%）に見られるように、前向きなコメントが多く、一定の効果を得ていると考えられる。

感想	実例をあげての話はわかりやすかった。これなら安心という着地点がない。
	しかるばかりでなく、どう使うかトラブルにならない為のアドバイスは必要。
	海外との違いが大きい事に驚いた。万国共通と思っていた。
	今の親自体がスピードについていけない。教える事、考えることを親に任すのは難しい。
	子どもと上手に付き合っていく対話など、ためになった。
	大人の役割・関わり方について考えさせられた。
	良いお話だったのにもっと参加人数があれば良かった。
気づき	保護者がしっかり対応していくためには、子どもたちの現状を知らなくてはならない。
	親の当たり前と子どもの当たり前が違うことに気付かされた。
	自分は興味が無く全く知らなかった。問題意識がずれていたことを認識。
つながり	子どもの基本的な生活習慣定着に向けて通年的に取り組みたい。
提案	事例の紹介など大変参考になりました。親だけでなく子供たちに学校でも開催して欲しい。
	問題提起をしていただいた。大人・子どもに関係なくとても重要なのでもっと発信してほしい。
	実際に教育の現場にいる人達の参加が必要。平日の開催の方が参加しやすいのではないか。
	中学生・高校生をパネリストとして参加させ、実際に生の声を聞いた方がよい。

16. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細⑥

■ <子ども向け>グットネットイベントに参加し、分かったことはなんですか？

- ワークショップコレクション「グッドネットイベント」において、小学生対象のアンケートを実施。
- 低学年31%、中学年45%、高学年24%の構成において以下の回答。また参加満足度は81%回答はまちまちとなり特筆すべき部分は見られないが、それぞれの体験において、気づきを得られたと考えられる。



17. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細⑦

■自由記述<イベント系>

- 子ども向け企画においてイベント系は人気があり、夢を与えたり興味・関心を高めるなどの効果とニーズは高い。

夢のケータイをつくろう！ケータイFLASHアニメ制作体験コーナー
待ち受け画面を作ることができること
犬の色をぬれたこと
パソコンでケータイの待ちうけを作ることが出来て楽しかった
自分でもつくれたこと
夢のケータイをつくろう！ペーパークラフト制作体験コーナー
ケータイ自身が絵を描いてコピーして、作れるのがすごいです
色々なことができるのですごいと思った。
絵をとりこんでもらった
名前を書いてお返事を書いたり
自分の絵が印刷できること
こちら遠山式立体表示研究所～飛び出す3D写真を作ってみよう！～
3Dが飛び出すということ
写真ですごいなと思った3Dは発見した人がすごく頭のいい人なのかと思った
3Dの写真がすごいということ
パソコンで3Dの写真がつかれること

18. 普及啓発活動詳細 地域事業 成果詳細⑧

■自由記述<ルール、マナー系>

- ルール・マナー系については、子どもたちの学びが多いと推察できる。ただし、主催時の経験からルールマナー系のみでの企画では集客は困難。

ネットの正義はぼくらが守る！マジック戦隊☆アイポリス
パソコン（インターネット）を使ってみて何でも出来るが危ない事
インターネットの世界が広いこと
インターネットは本当のことだけではないこと
ケータイやインターネットでは、色々な人が見ている決まりなどがあること
世界にケータイやパソコンなどがつながっているから注意しないとイケない
ケータイでメールを送った
いろいろなことができるけど変なサイトもあるから気をつけなくちゃいけない
Yahoo!きつず iPhoneで学ぶネットのマナーABC
元々知っていたけど、詳しく知ることができた
ゲームが出来てすごいと思った
知らない番号に電話をかけない
個人情報を簡単に知らせてはいけないこと
iphoneで色々なことができることにびっくりした
プライベートを守る
インターネットにあることを真似てはいけない

～ネット子ども防犯3カ条～

ゲームやSNS機能などのサービスを提供するコミュニティサイトは、正しく使えばとても便利で楽しいものです。しかしながら、こうしたサイト上で子どもがトラブルに巻き込まれるケースが増加していることも事実です。こうしたトラブルから子どもを守るには、子ども自身と保護者がコミュニティサイトのことをよく知り、安全な利用方法を身につけることが必要です。

安心ネットづくり促進協議会は、行政との連携を図りながら、子どもを守る取り組みを進めています。

その1：親子で話そう！

- トラブルを未然に防ぐために、親子でよく話し合っ、携帯電話やコミュニティサイトの利用ルールを決めておくことが大切です。
- その上で、保護者が、子どもの利用状況をきちんと把握することが大切です。そうすることで、万一トラブルに遭った場合でも深刻化する前に解決することができます。
- 保護者に話しにくい場合は、学校や専門機関に相談することができます。

＜専門機関連絡先＞ ・インターネット・ホットラインセンター：<http://www.internethotline.jp/>
・違法・有害情報相談センター：<http://www.ihaho.jp/>

その2：フィルタリングを使おう！

- フィルタリングとは、子どもに見せたくないサイトの閲覧を制限するサービスのことで、子どもをトラブルから保護する有効な手段です。
- 保護者は、子どもの携帯電話を確認して、フィルタリングが設定されているか確認し、未設定の場合は設定しましょう。現在、フィルタリングは、原則、無料※で提供されています。
- 保護者名義の携帯電話には、フィルタリングが設定されていない可能性が高いので、至急のご確認をお願いします。
- 携帯電話事業者は、フィルタリングの更なる普及を推進するとともに、未成年利用確認の徹底を進めていきます。

※一部有料のサービスもございます、詳しくはご契約している携帯電話会社へお問い合わせください。

その3：知らない人の誘いに乗らない！

- よく知らない人から「会おう」と誘われても、安易についてはいけません。トラブルに巻き込まれる可能性があります。
- 現在、主なコミュニティサイトでは、警察庁及び総務省の協力のもと、ミニメール機能（コミュニティサイト内の伝言機能）を利用した性犯罪等への誘い出しを監視する取り組みを行っており、今後も強化していきます。
- コミュニティサイト事業者は、年齢情報を利用した機能制限／ゾーニング（子どもに悪意ある大人を近づかせせない仕組み）の強化のため、携帯電話事業者の利用者年齢情報を活用する年齢認証の確実化に向けた仕組み作りを進めていきます。

地域別啓発事業評価

【資料3・別紙2】

【協力事業】

開催日程	開催県	会場	参加数	主対象 (保護者)	開催時間		理解度	満足度	参加者意識				コメント抜粋
					開始	終了			保護者の 対策	子どもの マナー教育	家庭での ルール作り	法による 利用規制	
10月28日	埼玉	さいたま市文化センター	2,000	教員 生徒	13:00	16:30	76%	83%	57%	70%	73%	12%	・本場に問題にぶつかった経験のない人達の会話という感じがした、分かりやすかったが現状把握は十分かどうか？ ・学校としては保護者への働きかけをしているが、必要な保護者ほど連絡がとれない現状である
11月1日	大分	大分県立劇場	600	一般	13:00	16:00	74%	既存イベントに編入のためデータ無し				・とても大切なテーマだと思い、今まで知らなかったことが少しわかった。しかし参加者に子育て中の親が少なくもったいないと感じた。 ・ケータイに振り回されるのではなく、上手に使っていけるように子どもの様子を見守っていききたい。	
11月10日		別府B-conプラザ	150	一般	13:00	15:30	82%	92%	86%	88%	78%	11%	・インターネットや携帯の具体的な危険な事例を知ることができた ・家庭、学校間で密接な連絡、対応、ルール作りが必要である
11月10日		佐伯市三余館	200	小	19:30	21:00	78%	92%	65%	84%	84%	9%	・常識的なことでもじっくり話を聞くと心に残る。 ・もっと親がネット社会の中味を勉強して子どもを守らないといけないうちでいいと思いました。
11月8日	鳥取	とりぎん文化会館	100	一般	10:00	15:30	91%	88%	79%	75%	71%	17%	・教育現場向けのフォーラムだった印象、内容が良かったので保護者や一般の参加者にも働きかけが必要ではないかと感じた ・法規制により子どものケータイにフィルタリングを必須に。ケータイは自分を律することのできない、子どもには有害。
2月6日	山口	山口県教育会館	200	高校P	13:00	15:50	74%	90%	80%	76%	65%	6%	・具体的な内容でした。子どもの立場からの話はとても参考になりました。 ・子どもを信頼する、信頼してもらえる親になることで電話利用について話ができる関係が必要。
2月6日	鹿児島	祈答院(けどういん)公民館	150	主に小	15:10	16:35	98%	98%	80%	84%	75%	8%	・身近な話だったので耳から入りやすい講演でした。 ・分かりやすく参考になる点が多かった。
2月7日	長崎	松浦市文化会館	500	小・中	9:00	12:30	82%	92%	70%	69%	81%	13%	・思っていた以上にメディアが危険である部分を知り驚きました。もっと多くの人に知らせるべきです。 ・一般的な情報しか得られなかった。もっと専門的な情報が欲しい。具体的な対処法とか。
2月13日	青森	青森県総合社会教育センター	100	一般	13:00	16:30	—	—	68%	73%	77%	14%	・中味が多すぎるので回数を増やそう少し深く発表して欲しい。 ・民間の自主規制の点で、販売業者やマスコミの参加があったらまた違った面での情報が得られたり理解が深まるのではないかな。
2月27日	奈良	ならまちセンター	150	高P	13:00	15:30	80%	92%	71%	79%	85%	9%	・個人での対応には限界があるので多少の不便はあっても業者の監視強化、法的規則の強化が必要と思う。 ・ネットは勉強に役立ってたりもする。時間の制限は必要ないように思うが、危険性もあるので、子供ともしっかり話をし使い方を充分理解してもらいたい。
2月27日	愛媛	愛媛県生涯学習センター 県民小劇場	300	小・中	13:00	16:00	88%	96%	86%	79%	77%	4%	・子どもが小さいうちに聞けて良かったと思った!!携帯を持つ前に! ・大人自身が使い方・マナーを見直し。よくなないと子どもにも教えられないし、子どもも聞かない。
2月28日	新潟	三条・燕地域 リサーチコア	100	小・中	14:00	17:00	84%	88%	69%	82%	80%	0%	・内容はとても満足しましたが、時間が短くて残念。 ・まず子どもにとってケータイは必要かどうか、何の為に必要かを親子で話し合うこと。
2月28日	富山	サンシップとやま 福祉ホール	250	高P県P 半数	13:30	15:30	80%	84%	72%	75%	78%	11%	・使う側(子ども)にメディアリテラシー教育を実践する事の必要性を感じた。「使わせない」ではいずれ問題は起きる。 ・中学生・高校生をパネラーとして参加させ、実際に生の声を聞いた方がよいと思います。
3月6日	岡山	岡山県総合福祉会館	100	小・中	13:00	15:25	86%	95%	74%	76%	74%	5%	・行政や携帯会社の対応に依存せず、家族・地域での独自の対応が必要になっていると感じました。 ・持たせる時にルールやマナーを親子でしっかり話し合わないかと思いました。高校生になってからだと、親の言うことは聞かず遅いと思いました。
3月6日	山梨	アピオ甲府	250	小・中	13:30	16:15	85%	93%	84%	75%	73%	13%	・携帯電話を持たないことは悪いことではない。商業主義にまきこまれたくない。 ・日常の中で親子がいかに向き合っているか。ケータイが悪いのではなく子どもをちゃんと見ているか。子どもの居場所を作ったら持たせることが大事。
3月13日	高知	高新文化ホール	100	小・中	14:00	16:00	86%	94%	83%	80%	84%	2%	・今の親自体がスピードについていけない。教える事、考えることを親に任ずるのは難しい。 ・高知では学校教育の中で研修機会が少ないのではないかな。民間機関や企業の手を借りて積極的に実施していかなければ子どもの将来に希望を持ってない。
3月20日	秋田	秋田県庁第二庁舎 大会議室	60	小・中・ 高	13:30	16:00	81%	82%	77%	71%	74%	0%	・親だけが考えてルールでおさえるのではなく、子どもと一緒に話し合っ理解し、使用することが大切と気づかされた。 ・子どもの携帯はプライバシーの場合もあり気になっていたが、それとなく関わっていかねばならないかと思いました。
3月20日	栃木	パルティとちぎ男女共 同参画センター	100	小・中	13:00	15:50	74%	90%	73%	71%	77%	16%	・パネリストの選択が良かった。内容が充実していた。一般PTAの参加が少なかったのが残念。 ・「ケータイに振りまわされてはダメ」を教えたい。がその前に思春期の子どもとのつながりを強化しなければ。親の言葉を届けられる親にならなければ。

【主催事業】

開催日程	開催県	会場	参加数	主対象	開催時間		理解度	満足度	参加者意識				コメント抜粋
					開始	終了			保護者の 対策	子どもの マナー教育	家庭での ルール作り	法による 利用規制	
8月22日	大阪	箕面市メイプルホール	200	一般	13:00	17:30	81%	89%	71%	84%	76%	4%	・学校でもっとこの様なお話しや危険性を説明する機会を増やして欲しい。 ・持たせた後も、しつこいくらい約束について話を。うちの子は大丈夫と思うのは間違い、常に危険は潜んでいると子どもに伝える、話をするのが大事。
9月26日	熊本	熊本県立劇場	500	一般	13:00	16:30	75%	86%	75%	81%	80%	7%	・自分の意識が変わった。少し明確になってきた。 ・規制強化は難しいが、年齢にあった使い方規制は必要と感じた。
1月23日	宮城	情報・産業プラザ	500	小中P	13:00	16:30	59%	87%	68%	81%	81%	6%	・話の内容にうなづく事も多くあり、子どもとのコミュニケーションとか家でのルール作りなど考えさせられた。 ・「どうする」という段階ではなく、国家レベルでの審議を経て法制化へ具体化の段階にきている。世界に比べて日本の対応の甘さを感じる。
2月27日	神奈川	慶應義塾大学日吉キャンパス	60	一般	14:00	17:00	96%	90%	87%	83%	78%	0%	・現場をよく知っている方の意見が聞けた。 ・子どもの前に親のIT・情報リテラシーを押し上げる必要がある。